

3月議会の質問

栗田町長は田代町長の後を受け、4年間多くの事業をされたと思います。今回退任するにあたり、今後の町政について伺います。栗田町長へは今回が最後の質問となりますので、簡潔に質問をいたします。

質問

4年間で栗田町長として行ってきており、次期町長に受け継いでほしい事業はどのようなものがありますか。4年間でやり残し、次期町長に実行してほしい政策はどのようなものがありますか。

回答

町長として最初の4年前の所信表明で大きく6項目について町民の皆様から寄せられた、ご支援と信頼・ご期待に応えられる決意と情熱をもって、住民の皆様が朝日町の地に生まれ、この地に暮らすことに誇りと希望を感じる朝日町の創生のため一生懸命取り組むと申し上げました。それを守るべき気持ちで一生懸命取り組んできました。そのうえで、手を付けなかった事業は自分ではないと思っていますが、時間的な要因で結果をみなかった事業もあります。受け継

いでほしい事業についての具体的なものにつきましては、選挙も近いこともあり控えさせていただきます。ただ、平成33年度からの今後10年間の町の大事な第6次総合計画の準備が始まるわけですので、住みよい町の創生のため、思い付きだけでなく持続される事業を期待したいと思います。

退任するうえで、非常に簡潔に回答が来ました。特に付け加えるようなこともありませんが、4年間お世話になりました。

議運とは何か

議会には議会運営委員会という組織があります。縁あってというか、皆さんにお世話していただいた結果、2年ほどこの議会運営委員会の委員長を務めさせていただきました。通常私たち関係者は短縮して議運と言っています。以下議運と呼びます。どのような組織かといえば、教科書的には以下です。

議運の所管

- 1、議会の運営
- 2、会議規則、委員会条例等
- 3、議長の諮問

議運の性格

- 1、議会を円滑に運営するための協議機関
 - 2、議長を支えている機関(裏方的存在)
- これだけでは、意味がわかりませんね。

議運は議会が始まる前に、通常2回ほど開かれます。委員長が各委員に招集通知をだします。ちなみに変な話ですが、委員長としての私が委員としての私に招集通知をだしますので、私の場合は出す人の名前と出される人の名前が同じだったりします。

議運が他の委員会と違うところは、市町村によってかなり違いがあるところです。他の委員会は市町村が違っててもそれほど違いはないと思われます。他の市町村の議運関係者や議会関係の研究者に聞くと、「誰が出席するか」と「何を決めるか」がそれぞれの議会によって異なります。

1、誰が出席するか

朝日町の場合は、委員長、副委員長、委員が正式メンバーとして出席し、議長、副議長、町長、議会事務局職員も出席します。他の自治体に聞くと委員長、副委員長、委員以外の出席者にかかなりの差があります。町長以外に多くの職員が出席する、町長が出席しない、などです。他の市町村では行政職員が出席して細かく説明している事例や町長が出席しないで主として日程などを中心に決めている事例もあります。それらの他の市町村の例から考えると朝日町のような構成は珍しいそうです。朝日町の場合は、議会事務局職員以外は、出席者が全て選挙で選ばれた人になります。ある研究者の方から「選挙で選ばれた人だけで決めるのはどうなのか。」と問われたことが

あります。それ以来他の市町村の人に議運の出席者について聞くようになりました。

2、何を決めるか

朝日町の議運で審議する内容は、予算案、条例、議員の質問、議会の日程などです。通常1回目の議運で予算案、条例を審議し、2回目の議運で議員の質問を審議することが多いです。これは慣例なのですが、朝日町の議運では予算案、条例は町長が全て説明することになっています。また議会での質問は議運で日本語の使い方を含め、細かく審議し加筆修正を加えます。これらも他の市町村からすると珍しいことだそうです。

私は、それぞれの市町村の議運の性格の違いが、それぞれの議会の性格に何らかの影響を与えているのではないかと考えています。しかし、それぞれの町の議運の委員が、自分の町の議運がどれくらい他の議運と異なっているかについて、あまり知らないという現状があります。今後の課題としてよりよい議運のありかたを考えていくべきだと思いました。その意味では、貴重な体験をさせていただいた2年間でした。